

科目コード	N303
授業科目名	人間工学概論
授業科目名(英文)	Introduction to Ergonomics and Human Factors
講義室等	6513
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学期	前学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎看DP-2
該当コンピテンス	◎看CP-3、○看CP-6、△看CP-2
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	山田 晋平
授業の概要	人間工学とは、人間とそれを取り巻く環境に関わる広範な学問領域を包括する応用学問である。本講義では人間工学の基本的概念を理解するとともに、産業保健領域における課題として産業疲労とストレスを取り上げ、それらにおける人間工学の役割について理解する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 人間工学の定義および基本概念について説明でき、人間工学的デザインとはどのようなものかについて説明できる。 2. 負荷・負担・疲労・ストレスの違いについて説明でき、それらの評価が実行でき、疲労とストレスの対策が提案できる。 3. 睡眠と生体リズムが産業疲労に与える影響について説明できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	講義毎に講義終了前(2コマ続きの場合は2コマ目の終了前)の時間を使ってミニレポートを作成させる。計4本のレポートを各々100点満点で評価し、その平均点が60点以上を合格とする。
教科書	なし
参考書	長町三生編著「現代の人間工学」1978年(朝倉書店)(既蔵書) 吉竹博著「産業疲労：自覚症状からのアプローチ 改訂版」1978年(労働科学研究所出版部)(既蔵書) D・A・ノーマン著「誰のためのデザイン？」1990年(新曜社)(既蔵書) 小木和孝著「現代人と疲労 増補版」1994年(紀伊國屋書店)(既蔵書) 日本産業衛生学会・産業疲労研究会編「産業疲労ハンドブック」1995年(労働基準調査会)(既蔵書) 池田良夫編著「産業人間工学」2000年(日本放送協会)(既蔵書) Dan MacLeod「The Rules of Work. A Practical Engineering Guide to Ergonomics」2000年(Taylor & Francis)(既蔵書) 越河六郎、藤井亀著「労働と健康の調和：CFSI(蓄積的疲労徴候インデックス)マニュアル」2002年(労働科学研究所出版部)(既蔵書)
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R6.4.1	月	I	人間工学とは 人間工学的デザイン アフォーダンス	講義	山田 晋平		
				予習 使いやすい道具やシステムを探す				
				復習 使いやすい道具やシステムの要件をノートにまとめる				
2	R6.4.1	月	II	ヒューマンエラー フェールセーフ, フォールトトレランス	講義	山田 晋平		
				予習 使いやすい道具やシステムを探す				
				復習 フェールセーフとフォールトレランスの違いと実例をノートにまとめる				
3	R6.4.8	月	I	人間工学的デザインの実例 VDT作業	講義・発表	山田 晋平		
				予習 アフォーダンスの実例をプレゼンにまとめる				
				復習 最適なVDTワークステーションの要件をノートにまとめる				
4	R6.4.8	月	II	産業疲労	講義	藤原 広明	1	
				予習 産業疲労について調べる				
				復習 産業疲労についてノートにまとめる				
5	R6.4.15	月	I	産業疲労	講義	藤原 広明	1	
				予習 疲労と睡眠について考える				
				復習 講義内容をノートに整理する				
6	R6.4.15	月	II	産業疲労	講義	藤原 広明	1	
				予習 疲労と睡眠について考える				
				復習 講義内容をノートに整理する				
7	R6.4.22	月	I	作業姿勢の評価	講義・実習	山田 晋平		
				予習 姿勢に伴う負担について調べる				
				復習 評価した内容をノートにまとめる				
8	R6.4.22	月	II	作業姿勢の評価	講義・実習	山田 晋平		
				予習 姿勢に伴う負担について調べる				
				復習 評価した内容をノートにまとめる				